



**ENEOS**

2025年3月31日

各位

ENEOS株式会社

## 仙台製油所が「いきもの共生事業所」に認証されました

ENEOS株式会社（社長：山口 敦治）の仙台製油所（所長：山縣 厚）は、生物多様性保全への取組みを高く評価され、一般社団法人 いきもの共生事業推進協議会（以下、ABINC）\*1の「いきもの共生事業所」として認証されました。工場版認証としては、2020年に取得した根岸製油所に続く2工場目となります。

ENEOSグループは、操業・生産拠点の周辺環境に影響を与えかねない事業特性を持つことから、生物多様性の保全を重要なテーマと考えており、これをENEOSグループ行動基準に定めています。また、生産拠点の多いENEOSでは、「エネルギーグループ・生物多様性ガイドライン」を定め、事業活動のあらゆる分野で生物多様性に配慮した取組みを推進しています。

今回認証を取得した仙台製油所は、1971年の操業当初から環境保全に配慮してきました。その一環として、高木・低木層からなる樹林帯、草木層、そして1つの水辺で構成される、約18万平方メートル（東京ドームのおよそ4倍）の広大な緑地帯を設けています。



仙台製油所の航空写真

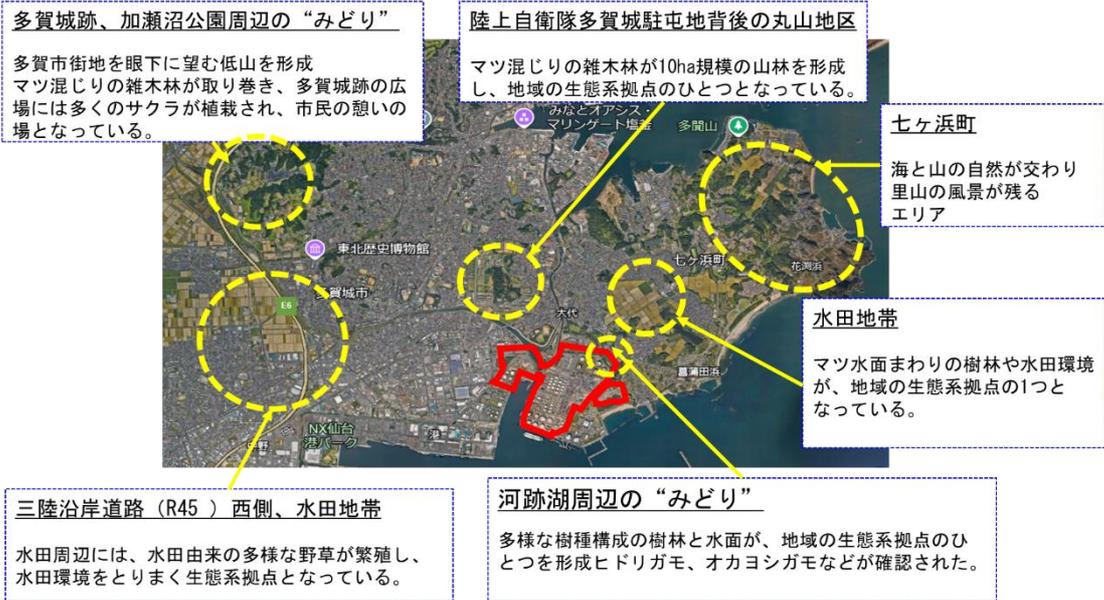


いきもの共生事業所 認証書

この緑地帯は、近隣の七ヶ浜町や周辺の水田地帯などにつながる生態系ネットワークの一部を成しており、多種多様な「いきもの」が確認される豊かな自然環境となっています。

**ENEOS株式会社**

〒100-8162 東京都千代田区大手町一丁目1番2号



周辺環境との調和



仙台製油所の主な緑地帯

仙台製油所では、所員による「いきもの」観察会や憩いの場として、また地域の皆様や一般の方々をお招きする工場見学会などで、楽しみながら生物多様性の恵みや大切さを感じていただける「工場の中の里山づくり」を目指し、樹林の間伐や緑地の維持管理などを行ってきました。その結果、「いきもの共生事業所」に認証されました。



除草のため放牧中の山羊に餌をあげる工場見学会の参加者

仙台製油所は今後も、所員が地域で開催される自然観察会に参加するなど、所外にも活動範囲を広げ、知見を深めるとともに、緑地帯を活用して生物多様性の保全をさらに推進してまいります。

- ※1 一般社団法人 いきもの共生事業推進協議会 ABINC (Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community) は、いきものと人が共生できるしくみの「創造」、科学的・技術的な「検証」、「事業化」の推進を目的とする団体。  
ABINC 認証制度は、自然と人との共生を企業活動において促進することを目的に作られた制度。企業における生物多様性に配慮した緑地づくりや管理・利用などの取り組みを第三者評価・認証するもの。

以 上